

## 職員の人事について



しもむら ひろし  
 下村 宏  
 議 員

**質問** 人事異動の要員計画は、どのように行っているのか。

**答弁（総務部長）** 村長が人事権を持ち、人事異動を行っている。

**質問** 自治体職員の不祥事、不正等を未然に防ぐため、犯罪防止に向けてのコンプライアンス等の研修を行っているのか。

**答弁（総務部長）** 近年、企業や公的機関等の不祥事がマスメディアにより取り上げられている。本村職員は、コンプライアンス公務員倫理の正しい知識を身につけるため、茨城県自治研修所の研修に積極的に参加し、健全な自治体経営を継続する意識を高めている。

と、適切な人事異動を期待する。外部団体の村社会福祉協議会とシルバー人材センターの人事はどのように行っているのか。

**答弁（村長）** 村社会福祉協議会には、ホープ作業所、デイサービスセンターがあり、職種がマッチした方に担っていただいている。職員は、すべて正職員ではなく、一般非常勤職員も含まれる。シルバー人材センターは、正職員1名、臨時職員2名、局長も臨時職員。他市町村のシルバー人材センターを視察・研修し、安定した雇用・運営ができるようにしたい。

**質問** ボランティアなど、村民とともに汗を流すことのできる職員、積極的にやる気のある職員をきちんと見て、人事考課をしてほしい。このような職員をどのように考えるのか。

**答弁（村長）** ボランティアに参加している職員は、それなりの意識を持って参加している。ある程度、人事評価の点数は上げるべきだと考えている。

### 障害者就労継続支援B型の運営について

**質問** 障がい者の自立促進と社会参加を掲げたホープ作業所が平成26年6月より就労継続支援B型の自立支援センター「ホープ」として運営が始まった。施設のサービス体系は。

**答弁（保健福祉部長）** 働く場の提供と能力等の向上等を目的に訓練体制の構築など行っている。定員の問題、専門員の不足、生活介護事業等、運営費の財政安定を見直しながら、すべての障がいを持った方々を受け入れられるよう検討したい。